

第27回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日時 昭和52年12月21日(水) 午後2時～4時

2. 場所 宇宙開発委員会会議室

3. 議題

(1) 昭和52年度1～2月期人工衛星打上げ計画について

説明者 東京大学宇宙航空研究所教授 野村民也
" " 林友直
宇宙開発事業団理事 平木一
" 打上管制部長 村尾忠義

(2) 実験用中容量静止通信衛星(CS)の打上げ経過について

説明者 宇宙開発事業団追跡管制部長 船川謙司
" 試験衛星設計グループ総括開発
" 部員
田畑浄治

(3) インマルサットをめぐる最近の情勢について

説明者 郵政省電気通信参事官 米沢允克

(4) 国連総会における宇宙関係の審議について

4. 資料

委27-1 第26回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨

委27-2 昭和52年度第2次観測ロケット実験科学観測
説明資料 他

委27-3 電離層観測衛星(ISS-b)打上げ及び追跡管制
計画書

委27-4 実験用中容量静止通信衛星「さくら」の打上げ及
び追跡管制結果の概要

委27-5 インマルサット関係の最近の動き

委27-6 第32回国連総会における宇宙関係の審議概要

参考配布

1. SESノート№073 昭和52年度第1次観測ロケット
実験報告
2. " " №074 M-3H-1機の打上げにおけ
る安全対策の実施について
3. 科学衛星及び観測ロケットの打上げ実験について
4. 電離層観測衛星(ISS-b)の打上げについて

第26回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨

1. 日時 昭和52年11月30日(水)
午後2時～4時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題 (1) 委員長就任挨拶及び委員長代理の指名について
(2) 実験用中容量静止通信衛星(CS)の打上げ計画について
4. 資料
 委26-1 第25回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
 委26-2 実験用中容量静止通信衛星(CS)打上げ及び追跡管制計画書
 委26-3 実験用中容量静止通信衛星(CS)打上げ及び追跡管制計画概要
 委26-4 実験用中容量静止通信衛星(CS)実験基本計画書
 参考配布 実験用中容量静止通信衛星(CS)実験計画の概要

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長	熊谷 太三郎
委員	網島 毅
"	吉 謙 雅 夫
"	八 藤 東 福
"	斎 藤 成 文

説明者

宇宙開発事業団副理事長	鈴木 禎 夫
" 打上管制部長	村 尾 忠 義
郵政省電波監理局宇宙通信開発課長	金 田 秀 夫
関係省庁職員等	
科学技術庁研究調整局長	岡 山 重 道
" 長官官房参事官	佐 伯 宗 治
文部省学術国際局審議官	手 塚 晃
	(代理：堀川)
気象庁総務部長	高 井 重 寿
	(" : 高谷)
郵政省電波監理局審議官	門 田 博
	(" : 筑)
建設省大臣官房技術参事官	北 野 章
	(" : 渡辺)
郵政省電波監理局	小 林 輝 治
" "	上野山 勉
" "	九 里 茂 享
" 電波研究所	石 田 享 一
"	塚 本 賢 一
宇宙開発事業団	平 野 陸 弘
"	上 田 義 矩
"	市 川 洋
事務局	
科学技術庁研究調整局宇宙企画課長	伊 藤 栄 一
" 宇宙国際課長	三 浦 信
" 宇宙開発課長	雨 村 博 光 他

6. 議事要旨

(1) 委員長就任挨拶及び委員長代理の指名について

熊谷太三郎新委員長から就任の挨拶が行われたのち、網島毅委員が引き続き委員長代理に指名された。

(2) 前回議事要旨

第25回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が確認された。

(3) 実験用中容量静止通信衛星（CS）の打上げ計画について

宇宙開発事業団の鈴木春夫副理事長及び村尾忠義打上管制部長から資料委26-2に基づいて、郵政省電波監理局の金田秀夫宇宙通信開発課長から資料委26-4に基づいてそれぞれ説明が行われ、以下の質疑応答が行われたのち、打上げ計画が了承された。

網島：GMSの軌道決定は、NASAが中心になつて行つたのか。また、CSの軌道決定は、どのような体制で行うのか。

村尾：GMSでは、ゴダード宇宙飛行センター（GSFC）の協力を得てヒューズ社のミッションコントロールセンター（MCC）が軌道決定を行つた。この場合、筑波宇宙センター中央追跡管制所も独自の追跡管制データを取得し、MCCのデータとの照合を行つた。

CSでは、NASDAの中央追跡管制所がGMSの場合のMCCの役割を果たしGSFCの協力を得て追跡管制を行い、軌道決定を行う。

八藤：CSの打上げ及び追跡管制体制は、西欧が、米国に依頼して打ち上げたシンフォニーの場合のそれと異なるのか。

事務局：基本的には同じである。